

人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

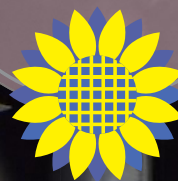
第67号

2023年

2月24日発行



与謝野町 議会だより



主な記事

- ◎12月定例会…………… 3P
- ◎議会懇談会…………… 11P
- ◎一般質問…………… 16P

与謝野町二十歳の成人式

《題字》宮津天橋高等学校加悦谷学舎 / 書道部2年 谷川莉菜 さん

クアハウス岩滝指定管理者 議案否決

12月定例会のようす

12月定例会は1日から19日までの19日間開催された。条例案件13件、指定管理者案件6件、専決処分2件、契約案件1件、その他2件、補正予算8件の都合32件の議案を審議した。

一般質問では15名が、町政の課題や考え方など各議員の提案などを含め議論した。

本会議では機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定、公共下水道使用料条例の一部改正、指定管理者の指定について質疑が集中し、下水道使用料条例の一部改正を含む3件とクアハウス岩滝の指定管理者の指定については賛成少数で否決した。

11月臨時会は7・8日の2日間開催され、一般会計補正予算第4号を審議した。

補正予算第4号は歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億5千911万円を追加し、歳入歳出予算の総額を121億2千85万円とするものである。大切井堰改修工事費、新型コロナウイルス対策事業についてであり全員賛成で可決した。

11月臨時会のようす

一般会計補正予算第5号

内容説明

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億558万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ123億2千643万円とするものである。主な歳入の内容は、普通交付税3千700万円の増、自立支援給付事業負担金3千525万円の増、ガバメントクラウドファンディング型ふるさと納税寄附金等4千500万円の増額等である。主な歳出の内容は、電気料金高騰等に伴う公共施設の光熱水費3千767万円の増、自立支援給付事業8千351万円の増、通学路等整備工事費4千万円の増額等である。

5名の議員が質疑を行い、全員賛成で可決した。

予算計上はしっかりと

高岡伸明

固 第2分団消防車庫詰所造成工事は3千万円予算を立てたが、1千200万円程度であったというとか。

固 予算を立てるときも少し検討すべきでは。

防災課長 そのとおりだ。精度を上げた要求をしておけばよかった。

防災課長 擁壁など一部を省き1千700万円程度余裕が出た。



造成工事の現地

新年の ごあいさつ



議長 宮崎 有平

令和5年の年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。平素は本町の議会運営に対しまして、格段のご理解とご協力、ご支援を賜り、議員一同、深く感謝とお礼を申し上げます。

昨年4月の町議会議員選挙により、16人の議員が選出され、5月には、新しい役員人事も確立され、議会がスタートしました。議会は、町長と同じく選挙で選ばれた町民の代表機関として二元代表制の一翼を担うものであることを自覚し、常に町民に開かれた議会をめざすとともに、町民参加を基本とする議会運営を進めていきます。議員は、町政全般の課題と町民の意見などを的確に把握し、自らの資質向上に努め、町民に選ばれたものとして職責を果たしてまいります。

与謝野町には、人口減少や少子高齢化などの問題をはじめ、さまざまな課題が残されています。人口減少においては、持続可能な社会の実現を目指し、新たな産業の創出も見据えた産業振興や、それに伴う基盤整備、企業立地、道路交通網の整備、生活環境の整備、保健・福祉の充実、教育振興、地域医療や地域交通の確保等はもちろんのこと、移住・定住・地域間交流の促進や地域社会の担い手の育成のための基盤づくり等、ヒト・モノ・カネが流入し、地域を循環する仕組みの構築が重要になります。縮小する社会においても人や地域が輝き、老若男女がいきいきと暮らせる与謝野町であり続けることが求められています。今後も議員一人一人が探求に努めながら、しっかりとした議論を重ね、町民の皆さまに寄り添った身近に感じられる町議会を目指すとともに、議会基本条例に掲げている「町民が安心して生活できる豊かなまちづくりの実現」に一層努力していかなければならないと思う次第です。町民の皆さまとともに与謝野町の未来に向かって、持続可能な町を実現するために努力いたします。町民の皆さまには、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆さまにとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



機構改革に伴う条例変更

内容説明

現在の役場組織を編成する18課を再編し、14課とするために上程された条例改正案である。再編後には住民税務課、農林環境課、産業観光課が課として立ち上がり、総務課に2室、農林環境課に1室の室が設けられることになる。賛成多数で可決した。

総務課長の指示は聞くのか

高岡伸明

問 総務課の中に防災危機管理対策室と財産活用・契約室が入っている。指示系統はどうなるのか。

総務課長 町長、副町長から特命事項として指示がある。

総務課長 指示内容については総務課長も掌握している。室長との連携による対応がある。

問 総務課の課長の立場はどのようになるのか。

総務課長 防災危機管理対策室の動きも所管

課長職の在り方

山崎良磨

問 機構改革することでの町民に対するメリットは。

総務課長 住民税務課になることで、各庁舎で住民が税の相談が可能となること等が挙げられる。

問 課の中に室を置き室長を主幹以上とすることで課長級を配置する可能性はあることは問題

だ。機構改革によつて18課から14課になったが室長に課長級を置けば、実質課長職は1名しか減らない。

副町長 極力、室長には主幹級を配置するようにする。

計画が甘すぎる

家城 功

問 機構改革後の姿が全く見えないが。

町長 疑問もあるかもしれないが機構改革を行いより効果的に政策を実現し、より良い町づくりを努めていく。

問 町民は勿論、職員にも形が描けることのできる進め方を約束できるか。

町長 責任をもって戸惑いのない進め方をする。

機構改革は何のために

和田裕之

問 機構改革の目的、いわゆる何のためにされ、何のためにやりたいのか、その点を明確に聞きたい。

町長 選挙で7つの柱で構成する、マニフェストの施策を強力に推進したいとの思いで提案した。

問 それも大事だが、機構改革によつて住民サービスが向上しなければ意味がない。住民環境課と税務課が一つになることで、サービスが向上すると理解して良いのか。

町長 加悦庁舎の税住民サービスのワンストップ窓口機能を野田川、岩滝庁舎に展開することで、住民の利便性の向上を図る。

機構改革に伴う課等の統廃合

統廃合する課等		新設する課	
税務課	1局1室1センター15課 18課等体制	住民税務課	1局13課 14課等体制
防災安全課		農林環境課	
住民環境課		産業観光課	
農林課		会計課 ※名称変更のみ	
商工振興課		課内特命室	
観光交流課		地球温暖化対策室（農林環境課）	
CATVセンター		防災危機管理対策室（総務課）	
会計室		財産活用・契約室（総務課）	

公共下水道使用料の改正

内容説明

下水道事業の持続可能な経営基盤を構築するため、下水道使用料条例の一部を改正する提案である。与謝野町上下水道審議会の答申に基づき、平成29年度以来となる下水道使用料の平均13・1％の値上げの提案であったが、賛成少数で原案を否決した。

農業集落排水処理施設条例、廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正についても同様の理由で提案されたが、賛成少数で原案を否決した。

なぜ今なのか

今井浩介

問 答申の内容も理解している。将来やるべきとも思っているが、なぜこのタイミングでの値上げなのか。

町長 この間、生活支援、経済的支援を行ってきた。公共料金の収納状況、所得も上昇傾向。改定をしても大丈夫と判断した。

問 物価高騰、電気代高騰等を考えると今ではないと思うが。

町長 持続可能な下水道の整備等に繋がっていくことで生活の下支えになる。これからの生活支援、経済的な事業者支援等も含めた形で支援すること、原則に戻って対策を講じていきたい。

下水道使用料の値上げ説明会

三田義幸

問 令和5年4月1日からの下水道使用料の値上げ説明会7会場での参加人数（住民の方々）は、知遊館7名、元気館4名、四辻公民館7名、三河内公民館5名、下山田公民館11名、岩屋公民館5名、石川農業構造改善センターが13名だが、この説明会参加人数について上

問 町長に対して同様に、説明会参加人数についての感想を求める。

町長 それぞれの会場で見込みよりも少なかったという状況であると認識している。各広報媒体などを通じ住民の皆様方にも告知したが、結果的に参加人数が伸びなかったのは、すなわち、この料金改定において住民の皆様方に対して、まだまだ情報提供が出来ていないという事を意味すると認識している。まず

上下水課長 回覧板や有線テレビ又は音声告知などで周知徹底したが公共料金の説明会という事で、足を運んで頂ける方々が少なかったのは事実。どうしても仕事などで来れなかった人達がいた。今後、この様な説明会をする時には、多くの住民の皆様方に参加して頂ける様に、改めて広報方法や告知の仕方について考える。

は議員の皆様方に、この案件を可決して頂き、その後で住民の皆様方に対して、周知徹底をしていく必要があると認識している。

引上げは避けるべき

永島洋規

問 町民説明会資料では、府に支援を要望するところ。下水道負担金への府の支援はどれだけか。

上下水課長 軽減された額は年間550万円。**問** 思ったより少ない。府がもっと支援をするべき。府が追加支援した後で、引上げ額を決めるべきではないか。人口減少で使用料収入が減っていることが原因と説明があった。人口減少は町民責任でない。人口減少が少ない平成30年度を基準にして算定するべき。

上下水課長 直近の令和3年度の実績で算定した。**問** 審議会答申は、新型コロナウイルス感染症の影響を熟考のうえ、改定するべきとある。コロナと物価高騰で大変なのに、町財政負担軽減のため経済状況が悪くても、

町長 経済活動の制限は無くなっている。生活状況は、不安はあるものの、数字上からみて安定している。**問** コロナ融資の返済がはじまる。返済出来ない事業所が出るのでは。**商工課主幹** 町金融懇談会では、返済がきびしい業者もあるという情報。**町長** 国では経済対策の補正予算が成立した。国もきびしい経済情勢という認識。こんな時に引上げは避けるべき。

町長 今後安定して運営するためには、負担増をお願いするしかない。

下水道会計正しい説明を

野村生八

問 コロナ禍や物価高で、町民の暮らしが大変で、町も支援している時に、大幅な値上げで負担を増やす事は、するべきではない。町への信頼も失うことになる。住民説明会の資料では、今後人口が減り、使用料収入が減るので、赤字額が増えるから値上げが必要であり、しかし、町の資料で

も収入の減は僅かしかない。理由は他にある。**上下水課長** 分かりやすい代表的な例として使用料をあげている。その他に令和6年度で終了する高資本費の繰入金や資本費平準化債の減少がある。

町長 独立会計で、使用料で賄うことが必要であり、理解をいただきたい。

下水道使用料の改定

和田裕之

問 下水道使用料の改定。いわゆる値上げと、福祉減免制度、つまり生活困窮者への対応はセットだ。制度は要綱で定め申請で減額されるが、昨今の厳しい経済情勢で、減額は柔軟に対応すべき

だ。

上下水課長 制度利用者が少ないと、制度があっても中身がないため、状況を注視する。

説明ができていない

家城 功

問 今回の使用料改定はただ単に運営費が足りないからだけの値上げではなく、将来負担をも見据えた上での改定ではないのか。

町長 その通りである。

問 その部分も含め説明不足では。熱意がない。

町長 説明責任をしっかりと果たして進める。

廃棄物処理及び清掃条例改正

格差をなくすこと

家城 功

問 手数料を改定すると町民負担は増えるのに、なぜ伊根町からの受け入れには改正がないのか。意味が分からない。

町長 協定によるもの。

しかし改定は可能であるので同時に進める。

反対討論

高岡申明（日本共産党与謝野町議員団）

「町民生活を圧迫する」

下水道使用料の引上げは経済状況が改善していない中、見切り発車と言わざるを得ない。コロナと物価高騰で大変な状況下で公共料金を引上げることは、生活苦・経営苦に追い打ちをかける事になる。下水道使用料の引上げは、町民生活を圧迫することにしかならないと判断し、引上げ議案に反対する。議案 99 号農業集落排水処理施設条例の一部改正、議案 100 号廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正についても同様の理由から反対を表明して反対討論とする。

反対討論

杉上忠義

「町民の暮らしを第一に」

コロナ感染拡大が心配される年末の中、防衛費の大幅増額による増税問題が連日、新聞、テレビなどで大きく報道されている。高齢者は介護保険、国保の値上げが心配される。「10 年前の国民負担率」として、国民所得に占める税・社会保険負担は 30% である。それが昨年は 48% までになっていると経済評論家は語っている。どうか、本町においても、コロナ感染などの社会状況、物価高騰が落ち着くかなどをよく見極めて、下水道使用料改定を検討することを切に願います。

指定管理者の指定について

内容説明

町の施設を運営管理する指定管理者を選定する議案 6 件が提案された。

- 岩滝ふれあいセンター ● 幾地コミュニティ広場
- 石川農業構造改善センター ● 加悦主産物販売施設
- 旧加悦町役場庁舎 ● クアハウス岩滝

が内訳である。

クアハウス岩滝は賛成少数で否決、その他は賛成多数で可決した。

入札時の公平性はどうか

高岡申明

問 山添電気が指定管理者に入ったがメリットは何か。

観光課長 修繕が緊急対応できる。来客対応もしっかりとできる。

問 20 万円を超える場合、入札になる。その時山添電気も参加できるか。

観光課長 指名競争入札・一般競争入札に山添電気が入れないということにはならない。

問 公平性という面においてはどうなるか。

観光課長 金額によるが A 級が入る。町内 2 社であり、公平公正に行う。

施設管理計画がずさん

今井浩介

問 福祉のまちとして健康な人が増えれば赤字でも良いと思うが、修繕は年間 5 千万円、指定管理料は 3 千 6 0 0 万円かかる。収入を見ても年間 4 千万円以上赤字となるが、それでも必要な施設なのか。計画が必要。

副町長 多額の町費を費やして良いかは議論があると思う。指定管理として指定しても民間活力を

探っていくことと、5 年間が担保できるものではないことは指定管理者に承知してもらっている。

問 町の意向で行った大規模改修において、集客、若者世代の利用増、観光客誘致などの実効性が計画も無いし見えない。

町長 次期指定管理期間の中で民間への施設売却も含めた形で議論していきたい。

何もしていないことがダメ

家城 功

問 指定管理については施設の方向性や行政の考えの構築、また審査方法も含め大幅な改善が無ければ、どんな案件でも賛成はできないと申し上げ改善の約束をしたが、ほとんど何も変わっていない。町民の財産である公

共施設の管理運営は町民の理解と納得のいく形でなければダメ。

総務課長 様々な協議はした上で微調整になるが改善もしてきた。

町長 協議はしているが更なる協議を重ね、制度を高めることが重要であると再認識をした。

クアハウス岩滝

渡邊貫治

固 D Yクアハウス岩滝 運営共同体とは何か。

固 山添電気には電気と設備の管理をとという提案である。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

固 山添電気は手あげられたのか。

保健施設に見直し継続を

野村生八

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。

固 今回クアハウス岩滝の指定管理料を大幅に増やす提案の根拠となる資料は、示されていない。



クアハウスの今後は

反対討論

家城 功

「議案第 102 号から 107 号について」

本案件を含む、指定管理者の指定についての議案合計 6 件について、以前から改善の約束をしていた「施設に対するあらゆる角度からの議論」「それに対する結論」「提出資料の不十分さ」「審査の基準やあり方」などに、一定の協議と微調整があったものの、何ら改善には至ってないと感じている。それぞれの施設の提出案件内容や指定管理先などについての異論

以前の問題として、指定管理の指定案件合計 6 件すべてに対して反対するものである。

反対討論

山崎 良磨

「運営の方向性を考える時」

まず費用対効果を考えた際に指定管理の理念から逸脱した、一向に減少の方向をみせない管理料は認めがたいと考える。

時代が変わり、今後の与謝野の人口・税収を鑑みた時に、運営の方向性を考えるときにきたと思われる。先に、指定管理を廃止したリフレ、ユースセンターとともに収益施設の在り方として、運営を検討する機会であると提言し、反対討論とする。

反対討論

永島 洋視（日本共産党与謝野町議員団）

「クアハウスこそ経営改善を」

クアハウスは最高時に比べ利用者は 79%、利用料も 67%と大幅減。半面指定管理料は 1 4 7 %に増加。リフレは横ばいもしくは増なのに、指定管理料は据置きで増額要望も聞いてもらえず町直営になった。

ユースセンターも町直営になる。クアハウスこそ町直営にして経営改善するべき。

今回提案の指定管理料 8 0 0 万円の増額は、対応に差がありすぎる。クアハウスだけ特別扱いは認められない。

12 月定例会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成

×印は反対

(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の賛否を決定します)

議 案	賛 成	反 対	杉上忠義	藤田史郎	野村生八	高岡伸明	浪江秀明	渡邊貫治	今井浩介	山崎政史	河邊新太郎	永島洋視	三田義幸	安達種雄	家城功	和田裕之	山崎良磨	宮崎有平
機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	13	2	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
与謝野町公共下水道使用料条例の一部改正について	7	8	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	—
与謝野町農業集落排水処理施設条例の一部改正について	7	8	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	—
与謝野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	7	8	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	—
岩滝ふれあいセンターの指定管理者の指定について	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—
与謝野町幾地コミュニティ広場の指定管理者の指定について	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—
与謝野町石川農業構造改善センターの指定管理者の指定について	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—
加悦生産物販売施設の指定管理者の指定について	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
旧加悦町役場庁舎の指定管理者の指定について	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
クアハウス岩滝の指定管理者の指定について	6	9	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	×	—
インボイス制度の実施の延期・見直しを求める意見書（案）	11	4	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	—

議会懇談会・町からの 回答一覧

与謝野町

今年度も議会懇談会を無事に開催することができました。懇談会でいただいた議会と行政に対する質問や要望について、回答を掲載します。

議会懇談会

質問・意見・要望等	回答（対応）
中学の自転車通学について自転車の指定があるのかどうか。補助があるのか。小学生と共にバス通学できる仕組み作りが必要ではないか。	→ 自転車の指定も補助もありません。 バス通学については、地域格差が出ないように提案していきたい。
障がい者施設で勤務する利用者が、バスで通勤している。便数が減り困っておられる。町民の交通手段の確保・利便性の向上のためにも声をあげてほしい。	→ オンデマンドタクシーの実証実験をして町としも住民の交通手段の確保に取り組んでいる。民間のバス・タクシー会社との協議し合意してもらえるよう取り組んでいます。
与謝小学校が閉校し活用委員会があるが、機能しているのか疑問。未来を見据えた活動をしてほしい。町としても本気度が足りず進み方がゆっくりだと感じる。	→ 産業建設環境常任委員会で、福知山など先進地の閉校後の取り組みの視察を行います。 全国で 8,500 校ほど廃校があるなかで、議員も勉強し提案していきたい。
リフレかやの里の今後の存続のかたちが不安に感じる。	→ 今まで通りの活用を目指して農福連携を軸に協議を行っています。
リフレの現状はどうなっているのか。	→ 議会だより第 66 号で、3 人の議員が質疑した記事が出ます。ご一読願いたい。町長は存続を認めました。
政策立案などが分からない。政策提案をどのようにやって反映されているのか。	→ 議会審議の中で政策提言を行っています。
議員とは地域の代表者ではなく、与謝野町全体としての議員である。選挙以外では顔が見えない。町全体の議員として活動をされているのか疑問である。	→ 様々な場所で、要望を聞き行政につなげています。
各議員の選挙公報のマニフェストの中間報告が必要ではないか。	→ 各議員が個人の判断で行うべきだと思います。
議会での質問において、事前に調べておくことをしていない議員が多いように思う。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。
総合計画の後期計画が策定中であるが、議員も参加するべきではないか。	→ 議会とは、理事者から提出された議案を住民の立場で検証をしながら質疑をして、賛否の判断をする立場にあると考えています。理事者が作るものに事前に議員が参加し意見を組み込むと反対できなくなるという点から、違うのではないかと考えます。
町や地域に見合った様々な提案をしていただき、理事者側と受け答えをし、より良い町にしていきたい。議会は討論の場であり、質問ではなく質疑・討論をしていただきたい。中身、意味のある議会にしていきたい。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。
8 年前の町長選挙で現町長は給与削減と退職金の返納を掲げられたが、何も変化がない。当時の議会の同意が得られなかったと聞いたが、議会は賛同するべきではないか。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。
下水道使用料の値上げには反対だ。	→ 答申書を受け、2 段階の値上げの説明を現在、町が各地域で行っています。議案が提出された際にはしっかりと審議致します。
女性議員がいないのは問題だ。	→ 出馬する個人の意思が重要であります。参画していただきたい思いです。
宮津市に比べ議員の数が多い。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。

インボイス制度の実施の延期・見直しを求める意見書(案)

賛成多数で
可決

提出者 和田 裕之

令和 5 年 1 0 月からはじまるインボイス制度は、消費税率変更を伴わない増税策である。各種団体の会員やフリーランス、一人親方などを含み、中小零細業者に多大な負担を求める制度であり、「多様な働き方」は成り立たなくなる恐れがある。

当町、与謝野町に於いては、織物業および農業が基幹産業となっている。

特に織物業に於いては、その大半が高齢（平均年齢は 7 0 歳以上）の出機（賃加工業者）であり、いわゆる高齢者に対して、インボイスにより新たに消費税事務手続きを強いることは、困難と言わざるを得ない。

また、年間工賃（総売上）は 1, 0 0 0 万円以下で、ほとんどが消費税免税事業者となっており、親機（加工委託者）が出機の消費税分を負担しなければならない事態もあり、このままでは、出機業者のかなりの方が、廃業を選択される恐れがあると懸念している。

このように、年間売上 1, 0 0 0 万円以下の消費税免税事業者を取引から排除しかねない制度は、事業者の取引慣行を壊し、免税制度を実質的に廃止するものである。

本年 7 月末時点でのインボイス登録は対象者の 7 % 強に留まり、その多くが「インボイス自体を知らない」、「対応に踏み切れない」などといった状況である。

こうした下で、予定通りインボイス制度を実施すれば、大きな混乱が起こることは火を見るより明らかとなっている。

インボイス制度の延期、見直しを強く要望する。 ※紙面の都合上、意見書(案)は一部修正し掲載しています。

反対討論

河邊 新太郎

「消費税は全世代型の社会保障の財政的基盤」

意見書(案)第 2 号は消費税インボイス制度の実施中止を求める内容であり、公正な納税環境の整備の推進を妨げるものである。納税の公平性を担保することは、国・市町村においても大変重要な事であり国民との相互の信頼関係こそが政治・行政の基本である。消費税は、全世代型の社会保障の財政的基盤である。消費税のインボイス制度の実施を中止することは、消費税の否定につながることであり、よって意見書(案)に反対する理由とする。

賛成討論

高岡 伸明（日本共産党与謝野町議員団）

「廃業を考える事業所増」

インボイスを契機に、廃業を考えている事業者が増加していると思われる結果が出ている。日本共産党は一貫して、インボイス制度の中止を求めている。意見書(案)は、延期・見直しであり不十分さを感じているが、一人でも多くの声を国に届けることを最優先にするべきと判断をし、内容の強弱はあっても意見書(案)に賛成する。党創立 100 年どんな迫害にもひるまず一貫して弱者の立場に立って活動してきた日本共産党だからこそその判断であるということを上記して賛成討論とする。

町からの回答

要望書 及び 質問書	回 答
① 六反田橋・順気橋など地域で草刈りをやっていたが高齢化で携わる人が減り河川敷が荒れている。河川敷の整備をしていただきたい。	→ 大変難しい問題ではありますが、地元の皆様方のご協力なしには環境を維持することは不可能でありますので、後継者の育成などをお願いしたいと考えております。また、水の流れを阻害し水害の発生の恐れがあるような状態が見受けられる箇所においては、河川の管理者であります京都府に随時要望しております。
② 岩滝橋周辺の環境保全（草刈り等）をお願いしたい。	→ この周辺におきましては、浜町区にお世話になり草刈りを実施いただいております。こういった取り組みが今後も継続いただけますよう京都府と連携しながら支援していきたいと考えております。
③ 地域などで草刈りもやっているが高齢化で困難となっている。自走式の草刈り機を除雪機のように区に貸与していただきたい。	→ ひとつの手段であると思われますが、機械の維持管理が問題となってきました。地元主体で使用する場合には、「与謝野町まちづくり人づくり補助金」等をご活用いただき、区での購入をご検討いただければと考えております。
④ 除雪の固まった雪が家の軒先にあり邪魔になる。排雪をしていただきたい。	→ 道路除雪につきましては、積雪による交通障害が発生しないよう行っております。そのため、集めた雪山については、通行や次回の除雪に影響が生じる場合には、後日、排雪いたしておりますが、道路沿いのすべての雪の塊を排雪することはできませんので、ご理解とご協力をお願いいたします。
⑤ 岩滝の忠霊塔の樹木が剪定されずに荒れ放題となっている。また他の公共施設でも樹木の剪定ができていない。剪定していただきたい。	→ 町内にある忠霊塔、忠魂碑やその周囲の除草作業、樹木剪定につきましては、各地区の遺族会や地区関係者の皆様方に行っていただいているものと認識しております。岩滝地域の忠霊塔の樹木につきましては、敷地から道路にはみ出し交通の妨げとなっていた際には、関係課で伐採を実施したことがあります。敷地内の樹木の剪定につきましては、実施できている施設は少なく、現状においては、剪定を行うのは厳しい状況となっております。
⑥ 親水公園の草刈整備を回数を減らさずしっかりとやっていただきたい。	→ 今後とも継続して実施していきたいと考えております。
⑦ 与謝小学校の跡地利用を考えていただきたい。	→ これまでの検討結果を踏まえ、令和4年1月に「旧与謝小学校活用検討委員会」より「旧与謝小学校の利活用にかかる報告及び要望」が町長に対し提出され、今後、旧与謝小学校の利活用が促進されるよう要望をいただいております。町としましては、この要望をしっかりと受け止めた上で、地域の皆様方の望まれる旧与謝小学校の活用を引き続き検討していきたいと考えております。
⑧ 織機の調整が出来る職人や部品の調達先が減ってきている。データベース化を図り、連絡先などを商工会を通じて広報していただきたい。	→ 与謝野町商工会では、10年前から織物織機調整等支援事業を実施されており、この事業の中で、技術指導及び織機・機械等の修理業者を「エキスパート」と呼ばれる制度に登録し、データベース化されています。町内の織物業者の方には、この制度の周知はすでに行われており、名簿についても広報をされています。また、データベースの更新についても商工会において随時行われていますので、与謝野町商工会にお問い合わせください。
⑨ 観光について、大名行列・曳山祭りなど各地域で祭りがあがるが、町として大きな括りで大々的なアピールをお願いしたい。	→ 本町のホームページにおいて、それぞれの祭事のコンテンツページを作成し、歴史的背景の紹介や動画配信を行っているほか、与謝野町観光協会においては、与謝野町内の「例祭」をまとめたパンフレットを作成するなど、本町の歴史文化の観光コンテンツとして紹介を行っており、ホームページにおいても「行事をみる」というコンテンツページを作成し、パンフレットと同様に情報発信を行っていただいております。今後につきましても、各種媒体やエージェントセールス等の機会を通して、本町の歴史的・文化的な価値のある観光コンテンツである「例祭」について、与謝野町観光協会を中心に引き続きプロモーションを実施していきたいと考えております。
⑩ 人を呼び込むためには新しいことが必要であり、全国大会のような大きな取組みが必要だと思う。大会の立案などの協議をしていただきたい。	→ 人を呼び込むために、新たな事業に取り組むことは有効な手段の一つであると思います。ただし、全国規模の大会を実施（誘致）するためには、本町で実施する理由でありましたり、大会を実施できるハード面であります施設の調整や整備など、いくつもの課題を整理していく必要があります。本町には、現時点でも、登山マラソンや俳句大会といった、全国から参加者のある大会がありますので、そのような大会の魅力を高めるよう工夫を凝らすことも、一つの有効な手段ではないかと考えています。



紙面の都合上「町からの回答」については要点を記載しています。
与謝野町ホームページ「第10回議会懇談会報告書」で全文をご覧ください。

質問・意見・要望等	回 答（対 応）
議員定数を減らす必要はないが、議員手当は減らして欲しい。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。
議員定数を増やし、報酬も増やすべきでは。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。
女性の候補者や多くの候補者が出やすい選挙にしていきたい。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。
シルクプロジェクトの現状は、どうなっている。	→ 2020年の3月議会において、シルクプロジェクトの予算が議会において否決された以降は、民間で実施している状況です。
野田川中央施設のこども園問題について、在り方検討委員会、デザイン会議、マネジメント委員会が立ち上がっているが総括できていない。	→ 在り方検討委員会の出した結論は白紙撤回です。デザイン会議、マネジメント会議は現在継続中で総括する段階ではないと思われます。
滝地区等の未整備の自転車道へ防犯灯の設置をお願いしたい。	→ 年々少しずつだが設置箇所は増やしている状況です。
大江山運動公園グラウンドのテニスコートのナイターの電球がはずれているが、どうなっているのか。	→ 老朽化の中で、町でナイター設備のあるテニスコートは岩滝地区に集約されました。使用者の同意を得ているとの報告を受けています。
マイナンバーの各市町村の取得率が交付税に影響するのは事実か。	→ 自治体が国の事業を請け負う中で、取得率が多い自治体が交付税を多く配布される可能性は大いにあると思われます。
コロナワクチンは打つべきではないと考えるが。	→ 接種は義務ではないので、各個人や家庭で考え話し合い対応してもらえればと思います。
スピード感を持って行財政改革を進めるべきだ。結果、住民のサービスが低下しても仕方がない。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。
高齢化社会をどうするかが課題だ。福祉、支え合いタクシーの現状は？	→ 既定のバス路線がある中で、町は参入しにくい状況です。乗合タクシーが現実的だが、民間の業者との調整が課題です。
下水道使用料の改定の際には福祉減免制度の設立をお願いしたい。	→ 福祉減免制度は説明会において、町が提案している事案ですので議案が上程された際には、議論の1つになると考えます。
後期高齢者の医療の2割負担の影響は、どれくらいあるのか。	→ 京都府下においては全体の20%、当町においては9%の方に影響があるかと思われます。
給食センター新築の進捗状況を教えていただきたい。	→ 議会での質疑の中で、令和8年に供用開始と教育委員会は答弁したが、財政的にも計画は難しい状況です。
福祉の話が進んでいないように感じる。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。
台風14号の際に避難所を開設しなかったが問題であったと思う。	→ 行政に伝えますが、垂直避難という概念もご理解いただきたい。
議会懇談会の時間が短すぎる。	→ ご意見として受け止めさせていただきます。
以前から要望しているが大内公園の近くに信号を設置して欲しい。	→ 警察との話し合いが難しい状況です。
下水道使用料の値上げについて、一般会計に若干余裕ができるが、繰上償還などに使うのではなく、住民サービスの向上などの使い方をしてほしい。	→ 使用料の値上げで、削減できた分の使用方法については、議会としてもチェックしていきたいと思います。
公設民営を議会としても推し進めていただきたい。	→ 一番効率的な方法を取るべきだと考えています。
新たな魅力を作り出さないと、人口減少が進む。	→ 住む魅力・文化の魅力・コミュニティの魅力を発揮できるよう町と一緒に取組んでいきたい。
空き家対策の活用を町外に向かって魅力を発信していかないとけない。	→ まずは町の魅力を作って町外に広報していくのは大事だと考える。
議会のLIVE中継が、昼を過ぎると途中で中断された。全て放送していただきたい。	→ 生中継は手動で切り替えを行っていますので、放送の中断はありませんが、録画をされた場合には、設備機器が古いため放送枠を超えた時に一部録画ができないことがあります。ご理解をお願いします。
熊の出没放送の際に具体的な出没場所を知らせていただきたい。	→ 放送の際に場所については伝えていていると思います。

委員会・事務組合報告

総務文教厚生常任委員会

報告者 永島 洋視

令和4年11月21日

委員7人出席のもと、委員会を開催した。令和5年度から6年度導入予定の町コミュニティスクールについて、教育委員会より説明を受け、質疑及び議論した。学校運営について、現在より



小規模保育園 こどもの森

与謝野町議会広報常任委員会

報告者 河邊新太郎

視察報告

令和4年11月22日

(株)北近畿経済新聞社

四方憲生社長から新聞制作における紙面編集方法について話をして頂いた。月3回の発行で、1回の編集に、8日から9日間かけて、8ページの新聞を作っている。流れとして、最初に編集会議を行う。1面・8面に何を載せるか、大まかに決める。数名で協議をする。取材で大事なことは、何を取材するか。基本的には、読者にとって有益な情報を採る。最終の編集会議で、どの記事をトップにするか、8面には何を持っていくか決める。記者が、レイアウト（整理）及び写真をどれにするか決める。新聞を取った時、人の目が最初に行くのが写真、次に見出し。見出しを読むだけで、何

産業建設環境常任委員会

報告者 和田 裕之

視察報告

令和4年10月26日

(株)Craft Bank

目的 産業振興について
◎福知山駅正面通りに旧銀行支店跡を借用改装してビール醸造・レストランを開業。若手2人が「ビール片手に何かやる」を合言葉に、市外から人が集まり、出会いや活動の場所、地域活性化を目指し創業された。若者が帰省し、地域の役に立ちたいという思い、また開業しようとする心構えは素晴らしく、大いに期待したい。

トボード練習場等を設置運営されている。また現在クラフトビール醸造所を建設中であった。当町を含め全国的に廃校利用は大きな課題である。

(有)玉木新雄

目的 地場産業について

◎播州織は「先染織物」という手法が特徴であり、江戸時代中期から200年以上も名を馳せてきている。オーナーの玉木新雄女史は、デザイナーでもあり西脇市へ移住して小さな工房から創業され、自らも織機を使い作り上げておられる。今では50人以上が働く大きな会社へと急成長されている。社員を大切にされる考え方も非常に素晴らしい会社であった。

与謝野町宮津市中学校組合

報告者 浪江 秀明

令和4年10月28日

議案は4件。

1件目、先決処分の認定。内容は、生徒がクラブ活動の練習試合に参加し帰校途中自転車操作を誤ったため転倒し付近に駐車中の軽自動車の運転席側ドア下部を破損させたもの。

2件目、職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例であり令和3年の人事院勧告に基づき職員の育児休業の取得、回数制限の緩和及び非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和等について改正を行った。

3件目、令和4年一般会計補正予算（第2号）について、歳入・歳出

ともに890万円を増額し、1億1千136万円となった。増額の主なものとしては学校管理費の増額であり台風被害による修繕工事のため増額となった。

4件目、一般会計歳入・歳出決算認定について、歳入総額1億8千54万に対し歳出は1億6千971万円となった。以上4件について審議し全会一致により承認、可決及び認定した。

議会運営委員会

報告者 安達 種雄

令和4年度議会懇談会

今年度の議会懇談会は2班に分かれて、旧町単位、3カ所で4回開催した。10月25日から11月11日まで、計61名の町民の皆様に出席頂き、多くの活発な意見や質問を頂いた。その中で、行政に伝えるべき事項について

視察報告

令和4年10月11日

兵庫県多可郡多可町議会へ視察研修を行った。テーマは議会のICT化、タブレットの導入について、多可町議会では町長、議長以下議会運営委員全員の出席を頂き、私たちの質問に積極的に答えて頂いた。なお、多可町議会では令和3年3月からタブレットを導入されている。

今般の研修を踏まえ、与謝野町議会でも、今後全議員での協議を予定している。

宮津与謝消防組合

報告者 山崎 政史

令和4年10月21日

定例会に先立ち全員協議会が開催され「消防指令センター共同運用の進捗状況」と「第5次宮津与謝消防組合基本計画の一部変更」について説明された。

次いで令和4年度宮津与謝消防組合一般会計補正予算第1号が提案され全員賛成で可決した。

次いで令和4年度宮津与謝消防組合一般会計補正予算第1号が提案され全員賛成で可決した。

宮津与謝環境組合

報告者 野村 生八

令和4年10月21日

令和3年度決算の特徴は、本格稼働をして1年で2回ダイオキシンの公害防止基準値超過が発生し、緊急停止したことで、運転日数が僅か161日しかなかったこと。

民間事業者に責任があり、事業者の負担で原因糾明と対策がされた



宮津与謝クリーンセンター

一般質問

Q ランキング3位の捉え方は

A 意識せざるを得ない

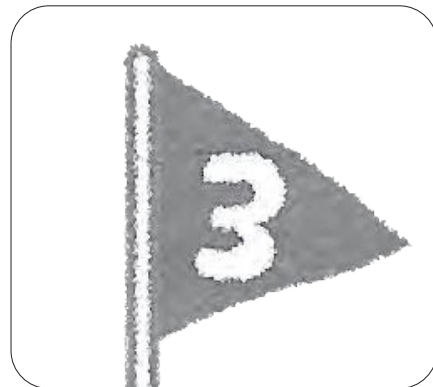


山崎良磨 議員

住宅会社の調査した住み続けた街ランキング（京都府）で当町は昨年の1位に続き、本年も3位という成績を納めたがどう捉えるか。

町長 過度に一喜一憂しなくても良いと言うものの、他所よりもランキングが高いということは、本町が移住の選択肢になる可能性も高いとも言えるので、やはり意識せざるを得ないと考える。

町長 プレス資料から、私なりに読み解くと住宅業者から、調査会社に委託されてアンケートの数値は作られている。調査会社に会員登録していないとアンケートに答えられないことから、サンプルケースが少なすぎる。また少ないサンプルから偏差値



順位に惑わされないで

でランキングを出しているの、信用性が薄いと考えるが。

町長 プレス資料しか見ていないので、詳しくはわからない。

町長 プレス資料に書いてあるのでよく読んで欲しい。3位であることは名誉なことではあるが、順位に惑わされず、今後もやるべきことをやるべきだ。

町長 そのように考える。

Q 野田川認定こども園を新築すべき

A 私も議員同様、出来るだけ早く整備をすべき



三田義幸 議員

町長 私は本年4月に行われた選挙での街頭演説において旧野田川庁舎を解体して野田川認定こども園を新築するべきだと提案した。町長の方針は。

町長 就学前の教育保育環境については、地域格差が生じない様、私も議員同様、出来るだけ早く整備をすべきと考える。

町長 新しい野田川認定こども園を新築するにあたり、今後の段取りについて決まっている予定は。

町長 現在、野田川地域で運営している認定こども園及び保育所の用地を活用する方法を役場内の委員会検討させ、既に報告を受けているが、これまでに議会が答弁している様に「公共施設等マネジメント推進委員会」における



解体して認定こども園の建設を

Q 新たなコミュニティ組織が必要では

A 協働の町づくり指針のようなものを作りたい

町長 一 それぞれが活動できる新たなコミュニティ組織が必要ではないか。

二 様々な地域課題や問題意識を共有し、地域住民と力を合わせ行動していくことが必要ではないか。

三 均一的なサービスを求める行政では困難な事業や地域課題に対して各区を利用し効率的に地域活動を展開し解決する。

四 地域には課題がある。公共交通機関、高齢化がある。地域課題を解決する地域活動が必要だ。

五 高齢者が活躍できる場を創出し、誰もが参加できる地域協議会を確立させ人材発掘につなげる。

六 高齢化が進むもと、地域づくりとして、役場までいかなくても、手続き



新しい組織を

町長 誰かが住みやすく安心して暮らせる町の実現目指して、地域課題解決に取り組んでいくための持続可能な取組とは何か、協働の在り方はどうあるべきか、10年後、20年後を見据えた地域の未来について話し合い、与謝野町ならではのまちづくり、地域づくりを推進したい。

町長 誰が決めるのか。

町長 住民の皆様とともに考えたい。



高岡伸明 議員

町長 誰が決めるのか。

町長 住民の皆様とともに考えたい。



山崎政史 議員



冬の農地

問 農業を取巻く環境は「高齢化・担い手不足」が全国的な問題になっている。当町の現状は。

町長 2020年の基幹的農業従事者の平均年齢は68・4歳であり全国平均67・8歳、京都府平均70・2歳であり全国平均よりも高く、京都府平均よりも低い状況になっている。

問 農地は地域の治水や環境システムの維持といった多面的な役割をしている。どのような取組をしてきたのか。

町長 持続可能な農業へつながる取組として、人・農地プラン、京都府でいう「京力農場プラン」作成の取組を推進している。プラン自体の重要性はもちろんだが、策定過程で地域での話し合いが今後の地域農業にとって非常に重要だと考え、地域の話し合いに農林

Q 地域に密着した対応を

A 理解を求める姿勢で

課職員が参加するなどの支援や、未策定地域にはプランの重要性を説明し作成へ向けた話し合いなどの働きかけを行ってきた。

問 農地の集約・集積化はこれらの課題の解決に効果的な取組だと言われている、より地域に密着した対応をしていただきたい。

町長 農林課職員を中心に積極的にプラン策定の重要性を伝えてきた。引き続き理解を求めていく姿勢で取組んでいく。

Q 住宅新築改修等補助制度の復活を

A 単独事業では再開の考えはない

問 住宅新築改修等補助制度の復活を再度考えていただきたい。与謝野町新型コロナウイルス感染症緊急対策としての対策は令和4年度は行なわれていない。町の人達はなぜ行なわれていないのか私に問われて困っている。なぜ構築しないのか考えを問う。

町長 本制度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象事業として実施したものであり、コロナ禍で低迷する社会経済活動の回復を目的とした事業者と住宅改修を希望される生活者、双方を支援することを目指したものの。これらの一過性の事業は、常時行うものでなく、時機を見計らいながら国の経済対策などを有効に活用する形で実施することが有効であ



現在の分譲宅地



渡邊貫治 議員

ると考えている。町の単独事業として再開するような考えはない。

分譲宅地の販売価格

問 現在、町が保有している分譲宅地は日吉ヶ丘団地9区画、算所の寺田団地1区画、加悦の小井根団地3区画である。1区画100万円減額で売却しても良いと考えるが町長の考えは。

町長 販売価格の改定をバブル崩壊後に行った平成24年度以降地価の大幅な下落は無いことから慎重に検討する必要がある。さまざまな方策で販売に繋がるよう努力していく。

Q 年次計画が無いから進まない

A 年次計画を立て実効性を担保する



今井浩介 議員

問 ちりめん街道マスタープランが平成26年1月に作成され、現在9年経過する。有効期限も年次計画も無い中で、ちりめん街道をどうしたいのか。観光の拠点として発展させる気があるのか。

町長 ちりめん街道の住民が活き活きと暮らすよう、日常生活と観光客の受け入れ強化をし、暮らしと観光の魅力づくりをする。できている部分とできていない部分はある。

問 いつまでに目指すべき姿にする計画なのか。

町長 実行期間を明示していく必要がある。

問 計画が無いから進まない。誰が何をしなければならぬか民間も行政も



持続可能な計画を

わかつているのか。

町長 意見交換を通じて計画や時期の見直しをしていきたい。

問 阿蘇ベイエリアマスタープランも同様。8年経過したが目指すべき姿やゴールは共有されているのか。

町長 主にシーサイドパークの賑わい醸成を行ってきた。一定程度方向性は共有できている。年次計画を定めていない課題もある。

問 どうしたいのか、何をしなければならぬのか、いつできるのか全くわからない。

町長 様々な計画において、年次計画を立て、実効性を担保するよう関係者と議論していく。

Q 加悦地域の人口減、過疎化対策を

A 全町的な施策は必要



永島洋規 議員

問 今後町と地域が協働で振興策作成をすることが、町づくりの柱では。

町長 協働の町づくりを模索している。

滝G・G場への支援を

問 滝グラウンドゴルフ場の利用者は町で一番、健康増進と交流の場として貢献している。認識は。

町長 大きな役割を担っていただいている。

教育長 健康増進の一翼を担っていたいている。

問 高齢化で維持管理も大変。人口芝への支援を。

町長 要望を閉ざすことはない。

副町長 補助事業はあるが、補助裏の財源負担が課題。

問 合併直後と比べ、加悦地域の人口減少率は加悦・明石区を除いて町平均を上回っている。学校・保育園の統廃合に加え、銀行まで無くなった。町の対策が必要。

町長 町は地域振興の役割がある。全町的な施策が必要。

問 学校が無くなると、地域は確実に疲弊すると公共施設マネジメント会議で大学の先生も発言された。学校統廃合は地域振興策を決めてから実施するべきではないか。

町長 それが出来ればベター。

問 現在作成中の総合計画後期計画の中に過疎化対策を明記するべき。

町長 人口減少対策は、しっかりと位置付ける。

人口減少率			
地区	平成19年3月末人口	令和3年3月末人口	減少率
舞所	1,120	887	20.8
加悦奥	972	705	27.5
加悦	1,135	982	13.5
後野	906	674	25.6
与謝	495	398	19.6
滝	580	471	18.8
金屋	677	530	21.7
温江	750	527	29.7
明石	1,026	949	7.5
香河	159	97	39.0
加悦地域計	7,820	6,220	20.5
岩滝地域	6,562	5,408	17.6
野田川地域	11,147	9,244	17.1
町全体	25,529	20,872	18.2

人口の推移

Q SDGsの取組と情報発信は

A 総合計画・後期基本計画での施策を推進する



藤田史郎 議員

町長 提案する。色々な提案があり、一つの意見として受け止める。

問 町民に対しSDGsの意味と内容を分かり易く広報すべきと考えるが。
町長 一般的には難しく、町民の活動や町の取組と関連付けて伝えていく。

問 SDGsに関して、具体的な町の取組は。

町長 基本的には持続可能な開発目標（SDGs）を原動力とした地方創生を推進して行く。

問 令和5年度で、SDGs関連での町民に見える予算化を。

町長 令和5年度予算は、後期基本計画を踏まえた上での予算編成をし、SDGsの関連についても丁寧に説明していきたい。

問 町民にSDGsの取組を示すシンボルとして、SDGsバッジの装着を



SDGsの推進を

※SDGsとは
Sustainable（サステナブル）
Development（ディベロップメント）
Goals（ゴールズ）の略称で、エスディー
ジーズと読み「持続可能な開発目標」と訳
され、教育・気候変動など17項目の目標
が示されている。

Q 引続き三河内地区の浸水対策を

A 新たな水利解析を行い、対策を実施する



浸水対策を早急に

問 以前は区全域が浸水地域であった。ソブ川の整備、上土地域の改修などにより、中央地域を除く浸水対策が進んだ。この間奥山川の下流が改修されたが、住民の不安は解消されていない。また、奥地や下地などの浸水も残されている。今後の改修計画を聞く。

町長 奥山川の氾濫により、多くの家屋が浸水被害にあつてきた。それを踏まえて令和2年に、旧郵便局横から下流のバイパス水路の整備計画を前倒しで実施した。その後被害は無く、一定の成果は得られている。しかし、河川断面はまだ不足しており、過去の大雨が降れば、甚大な被害を生みかねない。水利解析を行い、浸水被害を軽減させる効果的な対策を実施していく。



野村生八 議員

発達障がい早期対策を

問 発達障害者支援法が施行されて18年が経過した。早期発見・早期支援が求められるが、取組と課題を聞く。

町長 法に基づき、早期発見の措置、発達支援、本人と家族、関係者への支援、相談と関係機関の連携が求められている。課題は、診断と判断の難しさ、障がいの受容の困難さなどがある。当町では、妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援に務めている。

Q 農業の担い手は

A 関係機関との協力・連携で対応している



浪江秀明 議員

修先農家等からの情報を基に住まいを確保されている。
問 農地を借りるための信用はどう担保するのか。

町長 京都府農地中間管理機構による幹旋事業があるが新規就農者に対する信用の担保は、その新規就農者の研修受け入れ農家・法人になっているのが現状ではないかと考えている。



担い手は必要

Q 地域経済分析に基づいた地域づくり

A 多様な産業分野の連携で地域内経済循環を



ホームページで確認できます

問 本町が「中小企業振興基本条例」を活用して地域の中小企業・小規模企業、農業、福祉法人等や住民と戦略的に連携することで持続可能な地域づくりが可能と報告があつたが。

町長 この報告書は、町民の消費実態や町内事業間の取引状況などがわかる資料。地域内経済循環促進の補助金拡大、事業者連携事業等を実施している。

問 地域づくりの最重要課題の人口減少対策。「交流人口」から「関係人口」そして「移住・定住」の取組は。

町長 「移住促進住宅整備事業」などを実施している。移住者は年々増えている。昨年度は過去最高で12世帯34人。



杉上忠義 議員

水道事業広域化計画は

問 「府水道事業広域化に関する協議会」の第1回会議が開かれた。北部、中部、南部で議論を進めてきた。広域化推進の方向で一致と聞いているが。

町長 持続可能な水道事業基盤強化のため、広域化の取組を共通の認識とした。



安達種雄 議員

問 今夏8月末、議員研修会で企画財政課より、当町の財政の現況、将来見込みの説明を受けた。大変厳しいが、町民の理解と行政が厳しさをしっかり認識し、取り組みれば抜け出せない状況ではない、と説明を受けた。人口減少、公共施設と町の屋台骨となる事項、ここ数年のコロナ感染や気候変動による、世界中の経済の悪化など、平穩さを欠いた生活環境に向け、今後、財政面においてどの様に考えておられるか。

町長 短期の公債費負担の実質公債費比率は、令和6年度以降は徐々に改善し、単年度地方債発行額を10億円規模に抑制する。一般会計の公債費減少を図り、特別会計の公債費負担の減少に注力し、実質公債費比率悪化を抑制する。ここ数年一般会計、特別会計共に、地方債残高の負担は減少傾向にあるが、しっかり検証、整理を行い財政余力を生み出す必要がある。今後、人口減少等により、町税や地方交付税等の財源の縮小などを想定し、公共施設の再配置、産業の活性化等に対応できるよう財政基盤の安定を図っていく。

問 今後の見通しはどうか。

町長 令和7年度以降は財政調整基金を取り崩さない決算を見込む。



どうなる財政計画

A 徐々に回復の兆しがみえてくる

Q 町の今後の財政計画を問う



河邊新太郎 議員

問 厚生労働省は2019年4月に障害者手帳の形式を定める法改正を行いカードでの交付が可能になった。障害者手帳のカードでの交付が必要では。

町長 京都府では障害者手帳のカード化への予定はない。

問 現在多くの交通機関や民間事業者で障害者の確認方法として障害者手帳アプリ（ミライロID）の提示が導入されている。本町においても利便性の向上として、公共交通の乗降や公共施設窓口での確認が手軽になる、そして気軽に移動や外出がしやすくなるためにもミライロIDの導入及び活用について問う。



障害のある方の利便性が向上

町長 本町では、ウィラーモビの「行きたい時に行きたい場所へ」移動できる予約型乗合交通の導入は適していない。

問 乗合タクシーを推し進められるのか。

町長 乗合タクシー以外の選択肢もある中で、民間事業者の声を聞きながら与謝野町地域公共交通会議で慎重に進めていく。

問 実証実験の評価についてお聞きする。

町長 本町では、ウィラーモビの「行きたい時に行きたい場所へ」移動できる予約型乗合交通の導入は適していない。

問 乗合タクシーを推し進められるのか。

町長 乗合タクシー以外の選択肢もある中で、民間事業者の声を聞きながら与謝野町地域公共交通会議で慎重に進めていく。

A ミライロIDが利用できるように改める

Q ミライロIDの導入・活用の取組

A 個人の接種判断のための情報提供は重要な観点

Q 任意接種の積極的周知・情報提供を



和田裕之 議員

問 予防接種には、定期予防接種と任意接種がある。予防接種法に位置付けられているかどうかで、接種する努力義務があるか、または個人判断で接種するかの違いだ。しかし、任意接種でも、医学的には自分のためだけでなく、他人のために接種しているという観点では同じで、大切な接種だ。任意接種に於いては、全国あるいは当町でも積極的に勧奨はしていないが、ワクチンの重要性、また個々が接種の判断材料とするには、後は周知徹底、情報提供が必要だ。

町長 積極的接種勧奨はしていないが、個人が判断をする為の情報提供は重要な観点だ。情報提供は今後も検討を重ねたい。



ワクチン接種を

町長 国の見解を踏まえ対応しなければならない。

問 高齢者のワクチン接種は助成もあり、全国あるいは当町でも50%以上と高い接種率。しかし、子どもの接種は自己負担。費用負担が大きいことも接種率低下の原因の一つであり、助成の検討を。

町長 国の見解を踏まえ対応しなければならない。

問 高齡者のワクチン接種は助成もあり、全国あるいは当町でも50%以上と高い接種率。しかし、子どもの接種は自己負担。費用負担が大きいことも接種率低下の原因の一つであり、助成の検討を。

町長 国の見解を踏まえ対応しなければならない。

問 町には様々な歴史文化の施設が多くある。子どもたちの学校教育にも活かすことが重要では。

教育長 難しい現況もあるが、最大限活用し学びにつながる努力を進める。

問 若者の読書離れをよく耳にするが、学校図書の実を更に図り、本に触れる機会を増やすべき。

町長 本を読むことは重要なこと。工夫しながら尽力していく。

町長 子育て支援センターや学童保育でも、草刈りや施設整備など、手の届かない分野も多くあると聞いている。地域や町民を巻き込んで、町ぐるみで子育てを支援する形が必要であると感じるが。

町長 重要であり今後の事業展開に活



文化施設つばき資料館

A 重要であり今後の事業展開に活かせる努力をする

Q 子育て支援は町民を巻き込んで



家城 功 議員

かせる努力をすること、町の役割を果たしていく。

町の職場職員について

問 職場内におけるセキュリティについての準備が不足しているのでは。

町長 マニュアルを作り対応策を準備しているが想定外に備えた意識が必要であると考えている。

問 職員の職場は庁舎。早期総合庁舎化に。

町長 総合庁舎にすべき思いはある。あらゆる角度から協議をし、諮問会議や町民の意見を聞き、早期解決に向けて進めていく議論をする。

町長 意識改革も更に改善に努める。



まちの宝
子どもページ

石川保育所の紹介

～笑顔と元気いっぱい子ども達に～



しろ組さんが一緒だと、頑張ってるね！



室内でのブロック遊び。今日は何を作ろうかな～



自然物を使った遊び。落ち葉のシャワー。

0歳児から5歳児まで74名の子ども達が通っています。3～5歳の幼児組は日々のマラソンや体操、リズム遊びを通して、楽しみながら体作りをしています。0～2歳の未満児組は、幼児の活動を見て真似をすることで、体を動かす楽しさを感じています。また、互いの部屋に行き交って遊ぶことで自然に異年齢交流ができており、年下の子への接し方を知ったり、遊びのルールを教えてもらったりと、刺激を受け合いながら成長している子ども達です。保育所では、感染症対策、安全対策をしっかり行いながら、子ども達が笑顔で過ごせる

環境作り、伸び伸びと自分の力を発揮できる環境作りに取り組んでいます。

三河内小学校の紹介

「楽しい」学校で、健やかな子どもの育成
～気付きを行動につなげ、いきいきと学ぶ子どもを目指して～

本校では、心身ともに健やかな子どもの育成を目指し、健康安全教育を重点として推進しています。現在、児童数は82名と減少傾向ですが、各学級や1年生から6年生までの異年齢班を活用し、子ども同士の関わりやつながり意識したり、楽しみながら取組をしたりすることを大切にしています。年間を通して「健康フェスティバル」「サーキットチャレンジ」「みごっこタイム」を取り組むことで、子どもたちは主体的に実践できる力が付いてきました。また、教師からの「すこやか朝会」での発信、学習や安全環境を整備することで、健康課題を認識できるようになっています。今後も子どもたち一人一人がいきいきとたくましく生きる基盤づくりの取組を継続していきます。



「サーキットチャレンジ②」5種目に挑戦



児童発表「健康な生活のために大切なこと」



朝マラソンで体力向上！